



図書館だより



平成28年11月号 NO. 325
 北茨城市立図書館
 茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16
 TEL 0293-42-1451



2016 第70回 読書週間 10月27日～11月9日

読書週間は、読書推進運動協議会が主催して、毎年、文化の日をはさんで2週間にわたり開催されています。期間中、各地で読書に親しむための運動が展開されています。当館でも10月30日に「図書館まつり」を行い、たくさんの方々にご参加いただきました。

読書週間は、1947年（昭和22年）に様々な団体が協力し合い、「読書の力によって平和な文化国家を創ろう」と、第1回が開催されました。以来、毎年開催され、今年で第70回を迎えました。この読書週間が、みなさん一人ひとりに、読書の楽しさを知ってもらいたいきっかけとなればと思います。

読書週間のマーク「ふくろう」

ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る女神アテナの使者であり、文化の中心地アテナイ（アテネ）の聖鳥でした。そのため、古代ギリシャの人々は、「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしたといわれています。



読書感想画を展示しています

市内小学校の皆さんの読書感想画を図書館2階に展示しています。ぜひご覧ください。 展示期間：11月29日（火）まで



《 図書館カレンダー 》

印は、休館日です。

2016年 11月

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

☆ 開館時間 午前9時30分～午後6時 ☆



YABOOK 紹介



『 理系アナ柵太一の生物部な毎日 』

児童書 289マ SJ 柵 太一 || 著 岩波書店

人気 No.1 の生物オタクアナウンサー柵太一さん著書の「ムシ熱い」青春記。

アナウンサーとしては珍しい理系出身。子供の頃から虫が大好き。中高一貫の男子校では筋トレと登山合宿が必須の「体育会系」生物部の過酷な日々。大学では、アナゴ採集で船酔いと戦い、アサリ掘りでは砂にまみれた研学生活。現在アナウンサーとなって、『生き物のおもしろさをみなさんにお伝えしたいという夢が、少しずつですが、実現しはじめた』…そうです。



みなさんも柵アナウンサーのように色々なことに挑戦して、本当に自分が好きなこと熱中できることを探して下さい。まだ出会えていない方は、ぜひ図書館に足を運んでみてはいかがでしょうか。たくさんのジャンルの本があるので何かヒントが見つかるかもしれませんよ。

b y ドラ

図書館員のひとりごと



新図書館が開館してもうすぐ半年になります。

まだまだ駐車場などの整備は道半ばで、皆さまにご不便をおかけしておりますが、連日多くの方に来館いただいております、うれしい限りです。

しかしながら、半年もたつと、設計段階では見落とされていた細かな不具合、トラブルなどが散見されます。

例えば日当たりの問題。季節ごとに移り変わる太陽の位置によって、思わぬところから太陽光線を浴びたりします。後から何か所もブラインドを設置しました。

それから、雑草問題も頭が痛いところ。図書館の前庭には芝生が植えられているのですが、まだまだ生えそろうておらず、隙間からたくさんの雑草がひょろひょろ顔を出してきます。この草むしりがまた大変で、月末整理日の午前中が草むしりでつぶれてしまいます。

そのほか、館内の特定の机・椅子が思ったよりも汚れやすかったり、空調のフィルターにホコリがつまって異音を発したり、トイレが詰まって逆流してみたり (!)。

一つ一つはたいしたことがないものが多いのですが、こういったものにしっかりと対応していくことによって快適な読書空間をご提供できるようになるのでしょうか。「建物は立派なんだけど・・・」と言われたいよう、日々精進あるのみです。

b y シロ



トム・ソーヤ通信 No.315

☆トム・ソーヤ通信では、毎月、職員がおすすめの本を紹介しています。☆

◇ 翻訳絵本と海外児童文学との出会い ◇

一般書 019 マツ 松居 直 // 著 ミネルヴァ書房



「ひゃくまんびきのねこ」「アンディとらいおん」「いたすら きかんしゃ ちゅうちゅう」「もりのなか」…長年読みつがれる名作絵本の数々を編集者として出版した松居直氏。当時の背景として、石井桃子、瀬田貞二、各氏とのつながりを交えながら紹介します。これらの本が、当時の児童文学を真剣に考えた人たちの中から生まれてきたことに、図書館員として感謝します。みなさんも、この本の中に紹介されている本の何冊をご存知でしょうか？ 実際に手にとって読んでいただきたいと思います。
by ビクトリア

◇ フムス 豆のペーストレシピ 70 ◇

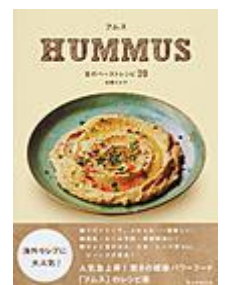
一般書 596.3 7 佐藤 わか子 // 著 朝日新聞出版

フムスってご存知ですか？

中近東や地中海沿岸で食べられている伝統的な家庭料理で、ひよこ豆にニンニク、練りごま、オリーブ油、レモンなどを混ぜてペーストにしたものです。

これをパンや野菜につけて食べるのですが、腹持ちがよく、良質なたんぱく質がたっぷり摂れるので、美容と健康、おまけにダイエットにもいい、ということで、世界で大人気らしいです。味のほうはどうかというと、ゴマの濃厚な味わいが日本人の味覚にもぴったりで、病みつきになってしまいます。(私はそのままめめるのも大好きです。)

この本では、フムスを使ったレシピを紹介しているだけでなく、大豆や枝豆、黒豆など、ひよこ豆以外で作るフムスのレシピもたくさんあるので、お手持ちの材料で、さっそく作ってみませんか？
by シロ



◇ かき氷 天然氷をつくる ◇

児童書 588 木 細島 雅代 // 写真 伊地知 英信 // 文 岩崎書店



氷は昔、冬に凍らせてつくり、夏まで保存して使われていました。埼玉県の大宮市（ながとろ）では、明治時代から山の谷間にある池で天然氷がつくられています。天然氷をつくっている人も今では全国で数軒、埼玉県では阿左美（あさみ）さんの家だけです。夏になると阿左美さんの店には、天然氷のかき氷を食べようと、たくさんのお客さんがやってきます。

そんな暑い夏が過ぎるころ、いよいよ氷づくりの準備がはじまります。氷池をきれいに洗って修理し、11月、やっと池に水が入ります。

天然氷ができるまでを取材し、たくさんの写真で紹介した本です。長瀬の天然氷のかき氷、食べてみたいです。(夏になったら…) by みーやん



◇ ギュレギュレ! ◇

児童書 913サ 斉藤 洋//作 偕成社

ある朝から、うちには奇妙なトルコ人がときどきやって来るようになりました。彼はいってみれば、不思議なもののセールスマンなのです。見えない穴からトルコじゅうたんを取り出し、ものは最高!と半ば強引にすすめてきたのが事の発端。次々とありえないものを売りつけてくるのです。初めは全く興味のなかった私もだんだん彼のペースにのみこまれ…。トルコ人と「わたし」のかけ合いがおかしいユーモア小説です。



★ドラえものの四次元ポケットとはまた違うユニークさにクスッときます♪ by リリー

◇ 星になった子ねずみ ◇

児童書 913テ 手島 悠介//作 岡本 颯子//絵 講談社



昭和19年、食べるものがない戦争の時代。子ねずみのチックくんは千倉少尉から毎日食べ物を分けてもらい、いろんな話を聞かせてもらいました。とても優しい千倉少尉は、神風特攻隊のパイロットなのです。

千倉少尉が星になった数日後、チックくんは千倉少尉の手紙を見つけました。愛する人への想いが込められたその手紙を届けることに決めたチックくんは、鹿児島から東京へ向かうのですが…。

★優しさや愛がたくさん感じられる感動の物語です。 by いにこ

◇ 「ごめんなさい」がいっぱい ◇

児童書 Eゴ くすのき しげのり//作 鈴木 永子//絵 PHP研究所

ふうちゃんは 大好きなかわいい妹です。私はお姉ちゃんだから、色んなことを教えてあげます。でも、ふうちゃんは まちがえてばかり。よく転びし、数を数えまちがうし、動物も言い当てられません。そのうち ふうちゃんは、いつも「ごめんなさい」と謝るようになりました。心配になったお父さんとお母さんは、病院へ連れて行くことにしましたが…。



by 和

お話し会のお知らせ

☆ いずれも 参加自由・無料です。
1階 おはなし室で行います。☆

★ エプロンシアター ★

11月2日(水) 午前10時 ~ 10時30分

11月5日(土) 午前10時 ~ 10時30分

★ 図書館お話し会 ★

11月9日(水) 午前10時 ~ 10時30分

★ ぼっぼのお話し会 ★

11月23日(水) 午前10時 ~ 11時

★ 英語絵本の読み聞かせ ★

11月26日(土) 午前10時 ~ 10時30分

